

古建築の見学会

三原支部 広報委員 西山 貴志

平成20年12月20日(土)、三原市歴史的建造物調査研究会と共催で、広島大学の三浦先生の説明により、見学会を行いました。午前には庄原市本郷町の『円通寺本堂』へ。午後は現在保存修理工事中の三次市吉舎町『奥家住宅』で、工事現場内を見学しました。ともに国指定の重要文化財です。



『円通寺本堂』は禅宗様仏殿としての形を整えており、様々な改修を経て現在に至っています。現地では建物の各種図面を基に、建物の歴史的背景からなる特殊性や各部材の力の伝わり方、改修時の状況など、わかりやすく説明していただきました。お寺は小さい建物だったため、「私一人だったら素通りしてしまうのでは」という印象でしたが、説明を聞くと、いかに重要な建物であるかということを五感と雰囲気を感じることができました。



『奥家住宅』は、約220年前に建築された茅葺の民家。現在は茅葺の雨漏れや虫害、床下の湿気による腐朽などの被害を根本的に修理するため、建物全体に仮設の屋根を設け、修理後も所有者が居住する計画の下で工事されています。三浦

先生の教え子の方が工事の監理技術者とのことで、今回は特別に現場内を見学。構造部材の組み方や修正方法などを、工事の難しさを交えて説明していただきました。また、当時の建物の状況を忠実に再現するため、床下の結露防止のための断熱などは行わず、建物周囲地盤の水はけを良くしているとのことでした。



私は古建築の見学会初参加でしたが、最近の夢のひとつである〈ボランティアによる諸外国の古建築の修繕〉と相まって、非常に有意義な時間を過ごせました。今後も積極的に参加したいと思います。

2009 Information Calendar 2月・3月の行事予定

2 February

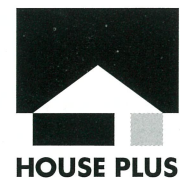
- 3 火・広島支部ボウリング大会(ヒロデンボウル)
- 5 木・研修会「安心・安全な住まい」(ウエルサンピア福山)
- 7 土・見学会・丸亀市方面(広島支部)
 - ・ひろしま風景づくりフォーラム(広島支部)
 - ・呉地区支部ボウリング大会
- 13 金・住宅・建築物の省エネ法等に関する講習会【住宅編】(住宅・建築関係講習会実施協議会・広島県情報プラザ)
- 14 土・建築なんでも探建隊(福山支部女性部会)
 - ・三原支部ボウリング大会
- 17 火・定期講習会①(広島)
- 21 土・建築技術者のための木造住宅耐震技術セミナー(呉地区支部)
 - ・一級建築士試験製図対策講座(福山支部青年部会)
- 22 日・一級建築士試験製図対策講座(福山支部青年部会)
- 23 月・住宅の長寿命化に関する講習会(住宅・建築関係講習会実施協議会・広島県情報プラザ)
- 24 火・紙ぶるる体験大会(三原支部青年部)
- 28 土・支部対抗ボウリング大会(東広島市)

3 March

- 5 木・定期講習会②(福山)
- 11 水・住宅・建築物の省エネ法等に関する講習会【建築編】(住宅・建築関係講習会実施協議会・広島県情報プラザ)
- 13 金・現代建築における屋上庭園の設計の系譜(呉地区支部)
- 17 火・住宅の長寿命化に関する講習会(住宅・建築関係講習会実施協議会・広島県情報プラザ)
- 19 木・定期講習会③(広島)
- 20 金・支部ゴルフ大会(福山支部)

MONTHLY
No.39 建築士

IROSHIMA

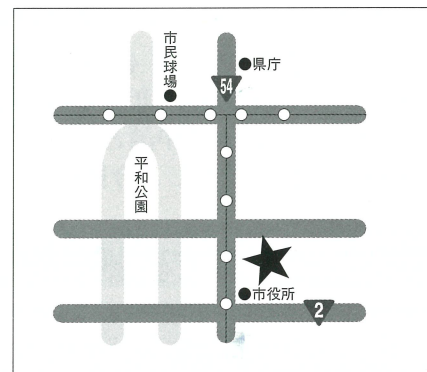


指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号)
登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号)

ハウスプラス中国住宅保証株式会社

代表取締役社長 河内 昭士

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL.082-545-5607(代表) FAX.082-545-5608



表紙写真について

「黒瀬春日野の家」

●設計・監理／田村和正建築設計事務所

●施工／株式会社 神垣組

●所在地／東広島市黒瀬春日野

●敷地面積／254.35㎡

●建築面積／68.06㎡

●延床面積／67.08㎡

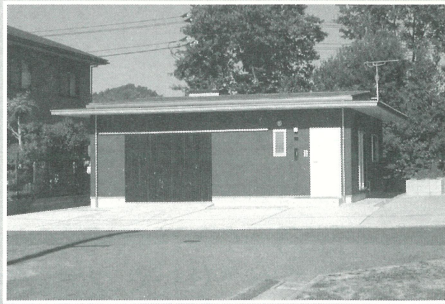
●構造規模／木造 平家建

●着工／平成20年5月7日

●竣工／平成20年9月20日

前面道路は南に位置し、団地内の幹線道である。この道に直交する支線道とのT字路に面して、建物は建つ。敷地の特徴は、東側隣地が私有地でありながら公園緑地のよう

り、立派な落葉樹として敷地を囲み、県道沿いの敷地でありながら、それを感じさせない役目を担っている。



この敷地環境に対して施主は、完全孤立型の住宅を望んだ。閉鎖的建物を最小に造りたいとの依頼に対して、戸惑いながらも一辺8m四方の平面に小さなアトリエとガレージを内包し、独り暮らしの生活空間を閉じ込めた。ただガレージの出入口には、目透かしの引戸を設けることに同意をして頂いた。

敷地境界を意識させないように、既設土間を使用しながら敷地全体を土間コンクリート舗装のみで、茂みの一角に忽然と建つ住宅をイメージしながら竣工を迎え

平成20年度「CPDデータ登録」の結果について

今回のデータ登録者は527名でした。

今回から委員会型や自主学習型の上限がなくなり、実務によるCPDの申請方法も大きく変わりましたので、かなり単位は取得しやすくなりました。ただ、「加算による単位」は初めてのことで表現があいまいな点もあり、様々な申請がありましたので、来年度はもう少し詳細な説明をガイドに加えます。

CPDは継続して能力を高める努力をすることが本質です。1年間に単位を多く取るゲームではありません。専攻建築士の更新にしても5年間で250単位取得すればいいのですから、平均50～60単位で充分です。通常の場合、実務の期間による単位で24単位、会報誌の自主学習で12単位あります。どなたでも36単位は取得できるようになっていますので、後はいくつかの研修があれば、すぐに50単位は取得できます。

■実務の期間によるCPD

プロジェクトを書く欄には、通常実務の確認で単位申請している月に行った物件を書きます。つまり24申請された場合は、11月から10月が満たされるように書いて下さい。それ以前、それ以降にかかっても構いません。また業務の内容は、打ち合わせや書類整理などであっても結構です。

■実務加算によるCPD

(全ての申請に証明する資料の添付が必要です)

・特定のプロポーザルはコンペには入りません。期間によるCPDの一環と考えられます。ここでいうコンペは、広く一般に応募しているものです。また、作品の制作が申請者であることは当然ですが、複数(又はグループ)や法人で応募した場合も、申請者

が関わっていることがわかるような資料を添付して下さい。

・プロジェクトの新聞、雑誌等への掲載も同様です。
・書籍の執筆は、対象を特定しているもの(士会の会報誌・支部報の原稿、町内会誌等)は認定していません。

・非常勤講師は11月から10月までの期間に講師をしていたことが分かる委嘱状や契約書の写し、通算の講義時間のわかるものを添付して下さい。一年を通して講師をした場合が概ね1講座5単位となります。前期と後期1講座ずつの場合は合わせて5単位として下さい。半期のみの講座は日数や時間によって2～3単位と考えて下さい。概ねですが、1時間以下は2単位、以上は2.5単位、30時間以上は3単位として下さい。

・資格の取得は、試験や考査を受けて取得する一度の資格、と考えて下さい。資格証明証や登録証等の写しを資料として添付して下さい。講習を受けて授与されるものや更新に関わる講習は研修単位で申請して下さい。

「管理建築士」：資格取得10単位です。従って平成20年10月16日及び28日に開催された講習は研修単位にはなりません。また結果発表が11月に入ってからでしたので、今年度の対象ではありません。21年度に申請して下さい。

「構造、設備一級建築士」：資格取得10単位です。次年度に申請できるのは、平成20年11月から平成21年10月に結果発表のあったものです。平成20年7月に考査を受けられて取得された方は今年度の対象者でしたので、平成21年度は申請できません。

■バーコードシールが手帳に貼ってあるもの
バーコードシールを貼ってあるものは、申請書に書いてはいけません。書式1(建築士会継続能力開発(CPD)プログラム認定申請書)は、バーコードシールが配布されなかった研修プログラム(他団体主催など)を自己申請するためのものです。自己申請をするものがない場合は、何も記入していない申請書を出す必要ありません。

■書式1で申請した研修プログラムの参加証明

・一番望ましいのは、主催者が発行した受講証明書(修了証など)です。ない場合は、受講票、領収証、参加者リスト、受講申込書などが考えられます。また、正味時間と研修の概略の分かるカリキュラムやスケジュール表などを添付しなければなりません。
・自己申請できる研修はあくまでも一般の方とは違った建築士としての立場、視点からのものです。
・見学会等は観光旅行ではありませんので、ただ見学ただけでは認定は難しいです。講師や説明者が同行など、企画を考慮して下さい。正味の時間が単位となりますので、タイムスケジュールを必ず添付して下さい。特に海外研修の場合は、解りやすい資料を添付して下さい。
・町内会や地域のボランティア活動も建築士の立場として係わっているかどうかを考慮して下さい。
・他団体のCPD資料を添付されていても、それを士会でも全て認定できるとは限りませんので、他の資料も添付して下さい。また、手帳のメモだけでは、申請したことになりません。
・社会貢献活動型、情報提供型も同様です。
・住宅相談は社会貢献活動型になります。催し物名称、主催者、相談時間のわかるものが必要です。
・情報提供型で申請する講師(講義や講演)は原則として単発のものです。同じコースまたは、同じ主催者の依頼で3回以上担当するもの、12時間以上になるものは一律5単位と致します。

■委員会活動(書式2)で申請できるもの

委員会活動として申請できる活動は、広島県建築士会主催のものか、行政関係依頼の委員会や会議です。他

団体主催のものは、士会の代表として出席を要請された場合のみです。用紙の注意書きにも記載してあります。また、建築士試験監理員もこの書式です。各委員会のメンバー中心に行う活動(広く広報しないもの)も委員会活動になります。書式1ではありません。住宅相談は「社会貢献活動型」になるので、書式1で申請して下さい。

■登録可能な期間

CPDデータ登録は年1度、1年間分を登録します。今回は、平成19年11月1日から平成20年10月31日に実施された研修、実務実績が有効でした。それ以前のものは無効、それ以降のものは来年度の登録となります。

また、この期間に建築士会に入会された方は入会月以降のものが有効です。

■その他の注意

・CPD登録番号：340000の後に会員番号が続きます。専攻建築士登録番号とは違います。
・CPD参加登録年：「CPD参加登録年」とは、参加した年、つまり手帳を入手した年です。データ登録を最初にした年や専攻建築士に登録した年ではありません。平成19年11月に専攻建築士に登録された方は、全員平成19年10月までにCPD参加されているので、CPD参加登録年は必ず平成19年以前です。平成20年ではありません。この「CPD参加登録年」は一生変わりません。通算年は毎年増えます。
・会報誌の公開講座のバーコードシールは紛失しないように管理し、ご自分の会報誌のシールを使用して下さい。コピーではコードが読み取れない場合があります。
・申請書は極力、手書きではなく入力したものをプリントして下さい。今年度、他の方の申請書の書式を利用されたため、その方の申請内容を消去しそびれていた

平成20年度「専攻建築士登録申請」状況について

当会の専攻建築士制度も4年目を迎え、大きな緩和措置であった「実務実績15年」がなくなり、今年度からはCPD単位のみによる申請となりました。予想通り、申請者数は大幅に減少し、今回CPD150単位以上の申

請者は5名でした。設計3名、構造設計1名、棟梁1名です。平成21年度は緩和措置最後の年になり、CPD200単位以上で登録申請ができます。平成22年度以降は250単位以上必要です。

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ポジ、データ)2～3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

Ⓐ 社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/